令和5年2月22日開会

総務消防
常任委員会会議録

鳥取県西部広域行政管理組合議会

総務消防常任委員会会議録

~~~~~

日 程

日 時 令和5年2月22日（水）
組合議会定例会休憩中
場 所 米子市淀江支所 議場

1 開 会

2 審査事項

- 議案第4号 鳥取県西部広域行政管理組合個人情報保護に関する法律施行条例の制定について
- 議案第5号 鳥取県西部広域行政管理組合個人情報保護に関する法律施行条例等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第6号 鳥取県西部広域行政管理組合情報公開条例の一部を改正する条例の制定について

3 所管事務調査

- (1) 第2次鳥取県西部広域市町村圏計画実施計画について
- (2) 江府消防署移転新築に伴う基本計画書の策定について
- (3) 高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の更新に係る整備方針について

4 閉 会

~~~~~

出席者（8名）

委員長	小 谷 博 徳	副委員長	渡 辺 穰 爾
委員	今 城 雅 子	委員	中 田 利 幸
委員	荒 井 秀 行	委員	山 路 有
委員	米 本 隆 記	委員	三 好 晋 也

~~~~~

欠席者（0名）

~~~~~

説明のため出席した者

事務局長	三上 洋	消防局長	赤川 紀夫
事務局総務課長	矢野 伴典	事務局総務課長	岩田 幸博
事務局施設管理課長	本池 将	事務局ごみ処理施設整備課長	生田 公志
消防局予防課長	宇津宮 進	消防局警防課長兼警防課消防第二担当課長補佐	後藤 典明
消防局指令課長	生田圭一郎	事務局施設管理課施設長（米子浄化場）兼浄化場維持担当課長補佐	松並 豊
事務局施設管理課施設長（リサイクルプラザ）兼ごみ処理施設維持担当課長補佐	小林 祥弘	事務局総務課長補佐兼人事給与担当課長補佐	堀口 晴美
事務局総務課長補佐兼認定審査担当課長補佐	伏野 哲彦	事務局ごみ処理施設整備課長補佐	加藤 公教
事務局総務課入札財政担当課長補佐	三原 剛	消防局総務課経理担当課長補佐	高田 一広

~~~~~

議会担当職員

書記長	近藤 隆	書記	板井 寛典

~~~~~

1 開 会 (午後1時37分)

○小谷委員長 ただいまより、総務省消防常任委員会を開会いたします。

~~~~~

2 審査事項

○小谷委員長 それでは、日程2、審査事項に入りたいと思います。先ほど、本

会議から付託されました議案3件について、審査をいたします。なお、審査事項は、お手元に配付しております日程書のとおりでございます。では、1件目、議案第4号、鳥取県西部広域行政管理組合個人情報の保護に関する法律施行条例の制定についてを議題といたします。当局の説明を求めます。

○矢野事務局総務課長 委員長。

○小谷委員長 矢野事務局総務課長。

○矢野事務局総務課長 そういたしますと、議案第4号の説明をさせていただきたいと存じます。資料のほうは、右肩に「議案第4号参考資料」と書いてあるものを御準備いただけますでしょうか。そういたしますと、議案第4号の説明をさせていただきます。議案第4号は、組合個人情報の保護に関する法律施行条例の制定についてでございます。こちらの制定理由でございますが、現行の個人情報の保護に関する法律をはじめといたしまして3本の法律が新たな個人情報の保護に関する法律という形で統合されまして、これが全ての地方公共団体に適用されるということになりましたことから、このたび、新たな個人情報の保護に関する法律の施行に必要な事項を定めるため、条例を制定させていただきたいと考えているものでございます。大きい項目の1番ですが、条例制定の方向性ということで、これまでの個人情報の取扱いにつきましては、組合個人情報保護条例、こちらのほうで運用をさせていただいておりましたが、この条例の規定の大部分が新しい個人情報の保護に関する法律において規定されましたことから、組合個人情報保護条例は廃止させていただきまして、新たな条例といたしまして、組合個人情報の保護に関する法律施行条例を制定し、新たな個人情報の保護に関する法律には規定されていない事項を定めることとしたいと考えておるところです。大きな項目2番のところ、主な制定内容を記載しております。個人情報取扱事務の届出等につきましては第3条に、開示請求に係ります手数料等につきましては第5条に、それから、お手数ですがおはぐりいただきまして2ページですが、組合情報公開・個人情報保護審査会への諮問、こちらに関しましては第6条に、施行状況の公表につきましては第7条に、それぞれ規定しております。主な内容につきましては、この表の右の欄内に記載してありでございます。最後1ページに、申し訳ありません、お戻りいただきまして、中ほどの表の2番目のところ、第5条関係ですが、若干説明を加えさせていただきたいと存じます。こちら第5条につきましては、住民サービスの向上、それからデジタル化の進展という状況を考慮いたしまして、従前ですと公文書の写しにかかります費用は実費としていた取扱いを、手数料として徴収することとしたいと考えております。それから併せまして、公文書の公開の方法といたしましては、紙だけではなく、光ディスクに保存して交付する方法も新たに導入しようと考えているところがございます。再び2ページのほうにお戻りください。大きい項目の3番でございますが、この条例の制定に伴いまして関係条例の改正が必要となってまいります。関

係する条例は、記載の3つの条例となっております。こちらのほうは議案第5号として上程させていただいているところですので、後ほど説明をさせていただきたいと思っております。この条例の施行につきましては、大きい項目4番ですが、令和5年4月1日から施行予定としているところでございます。説明は以上でございます。

○小谷委員長 当局の説明が終わりました。これより質疑に入ります。委員の皆さんの質疑をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○小谷委員長 はい。質疑がないものと認め、質疑を終わります。続いて討論を行います。

〔「なし」と声あり〕

○小谷委員長 討論がないようですので、討論を終わります。これより、本件について採決をいたします。議案第4号、鳥取県西部広域行政管理組合個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○小谷委員長 異議なしと認めます。よって、本件は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。次に、議案第5号、鳥取県西部広域行政管理組合個人情報の保護に関する法律施行条例等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてを議題といたします。当局の説明を求めます。

○矢野事務局総務課長 はい、委員長。

○小谷委員長 矢野事務局総務課長。

○矢野事務局総務課長 そういたしますと、議案第5号の説明をさせていただきます。資料のほうは、右肩に「議案第5号参考資料」と書いてあるものでございます。お手元のほうに御準備いただけたらと思っております。議案第5号でございますが、先ほど、若干触れさせていただきましたが、組合個人情報の保護に関する法律施行条例の制定に伴いまして、関係する3本の条例の規定を整備させていただきたいというものでございます。具体的なところでございますが、大きい項目1番ですが、組合営火葬場条例の一部改正、こちらが1つございます。改正内容につきましては、引用する規定を整理しようとするものでございまして、改正前は現在の組合個人情報保護条例第2条第2号を引用元にしておりますが、こちらのほうから組合個人情報保護法施行条例第2条第2項に変更するものでございます。それから2つ目の条例の一部改正でございますが、こちらは組合情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正でございます。主な改正点といたしましては2点ございまして、1点目がアのところに記載しておりますが、審査会の所掌事務についてでございます。このたびの改正等によりまして、情報公開、それから個人情報保護審査会、こちらの所掌事務のうち、個人情報保護制度に関します部分に

つきましては整備が必要となります。このため所用の改正を行うもので、改正内容につきましては、このページの下にございます一覧表のとおりでございます。お手数ですが、おはぐりいただきまして2ページを御覧ください。もう1点の主な改正内容といたしましては、審査会の調査審議手続におきます行政不服審査法の準用についてでございます。組合情報公開・個人情報保護審査会は、組合情報公開・個人情報保護審査会条例の規定に基づき設置される機関であります。それと同時に、保有個人情報の開示決定等につきましては、係ります審査請求の関係事項の諮問に応じる場合には個人情報の保護に関する法律、こちらの規定によりまして、行政不服審査法上の機関としても位置づけられるということになりますことから、その位置づけを明確化するほか、行政不服審査法の規定を準用することに伴いまして、必要となります改正を行おうとするものでございます。それから3点目でございますが、こちらは組合手数料条例の一部改正についてでございます。このたびの改正につきましては、いずれも手数料条例で手数料を徴収する事務、それから額、こちらを定めている別表の部分に関するものでございます。1点目が、行政不服審査法の規定に基づきます審査請求人等の求めによる提出書類等の写しの交付に係る手数料についてでございますが、このたびの改正に合わせて、公文書の公開、それから保有個人情報の開示に係る手数料の額と同額とする形で改正をしたいと考えているところです。それから3ページ目を御覧ください。2点目の改正点といたしましては、死者に関する情報の開示に係ります手数料でございますが、個人情報の保護に関する法律におきまして、このたびの個人情報の保護に関する法律におきまして個人情報が生存する個人に関する情報と定義されましたことから、本年の4月1日以降は死亡した個人に関する情報は、法律、それからこのたび制定させていただきます組合個人情報保護法施行条例の対象から除かれることとなります。このことから、本年4月1日以降におきます死者に関する情報の開示に係る手数料につきましては、組合個人情報保護法施行条例ではなく、本手数料条例で規定し、その額は、公文書の公開、それから保有個人情報の開示に係ります手数料の額と同額としたいと考えているものでございます。それから4ページ目でございます。最後になりますが、用紙に複写、印刷または出力したものを交付する場合におけます用紙の算定方法について、別表の備考のほうで定めたいと考えているものでして、定める内容は、その下、備考の1項・2項に定めている内容でございます。なお、条例の施行につきましては、本年4月1日から施行予定とさせていただいているものでございます。説明は以上でございます。

○小谷委員長 説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○小谷委員長 質疑がないものと認め、質疑を終わります。続いて、討論を行います。

〔「なし」と声あり〕

○**小谷委員長** 討論がないと認め、討論を終わります。これより、本件について採決を行います。議案第5号、鳥取県西部広域行政管理組合個人情報の保護に関する法律施行条例等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○**小谷委員長** 異議なしと認めます。よって、本件は、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。次に、議案第6号、鳥取県西部広域行政管理組合情報公開条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。当局の説明を求めます。

○**矢野事務局総務課長** はい、委員長。

○**小谷委員長** 矢野事務局総務課長。

○**矢野事務局総務課長** そういたしますと、議案第6号につきまして御説明いたします。資料のほうは、「議案第6号参考資料」で説明させていただきたいと思っております。議案第6号は、組合情報公開条例の一部を改正するものでございまして、住民サービスの向上、それからデジタル化の進展状況を考慮いたしまして、このたびの個人情報保護制度の改正に合わせまして、本組合におけます公文書の公開方法と費用負担のあり方を見直しいたしまして、光ディスクに保存して交付する方法を新たに導入いたしますとともに、従前は公文書の写しの交付に係ります費用を実費として取扱っておりましたが、こちらを手数料として徴収することとする、そのほか所要の改正を行うものでございます。1番のほうで主な改正内容を記載しております。(1)から(7)が主な内容でございまして、(2)のほうでは、ほかの改正条例と同じく公文書の公開の方法につきまして、公文書の種別に応じ、一覧のとおり定めることとしたいと考えているところでございます。条例の施行につきましては、本年4月1日からを予定しておりまして、3番の関係規則の改正でございしますが、こちらは2ページにまたがって記載させていただいておりますが、記載のとおりでございます。おはぐりいただきまして2ページのほうです。最後に別表を掲げておりますが、これは今回の改正に合わせまして写しの交付方法や、それに応じた手数料の額を定めたものを別表という形で規定するものでございまして、度々申し訳ありませんが、1ページの1の(5)に別表参照と書いてございますが、こちらの別表に当たるものでございます。説明は以上でございます。

○**小谷委員長** 説明が終わりました。これより、質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○**小谷委員長** 質疑がないものと認め、質疑を終わります。続いて、討論を行います。

〔「なし」と声あり〕

○**小谷委員長** 討論はないものと認め、討論を終わります。これより、本件について採決をいたします。議案第6号、鳥取県西部広域行政管理組合情報公開条例の一部を改正する条例の制定について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○**小谷委員長** 異議なしと認めます。よって、本件は、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。以上で、当委員会に付託されました議案の審査は議了いたしました。

~~~~~

3 所管事務調査

○**小谷委員長** 続きまして、日程3、所管事務調査に入ります。調査事項は3件です。これらについて、当局より順次報告を受けたいと思います。初めに、(1)第2次鳥取県西部広域市町村圏計画実施計画についてを調査事項といたします。当局より調査事項の説明を求めます。

○**矢野事務局総務課長** 委員長。

○**小谷委員長** 矢野事務局総務課長。

○**矢野事務局総務課長** はい、そういたしますと、西部広域市町村圏計画実施計画につきまして説明をさせていただきたいと存じます。お手元に準備いただきます資料ですが、資料の1-1、それから資料の1-2を御準備いただきたいと思います。そうしますと、説明させていただきます。まず、資料1-1を御覧いただけたらと思います。このたび見直します実施計画でございますが、市町村圏計画の基本計画の内容をベースにいたしまして、向こう10年間に計画されます事業内容ですとか経費を算出し、財政推計と一致するものとして計画しているものでございまして、毎年度ローリング方式により計画を更新していくこととしておりますことから、実施計画の計画期間をこのたびは令和5年度から令和14年度までの10年間としまして、見直そうとするものでございます。大きい項目の2番ですが、実施計画の見直しについてでございますが、ここでちょっと資料1-2を御用意いただけたらと思います。資料1-2の3ページを御覧ください。ここから先は資料1-1と資料1-2のほうを併せて御覧いただきながら説明を聞いていただきたいと思います。まず、この実施計画の見直しについてでございますが、見直しの際には全ての事業計画に対して共通して行うものとして、まず、①で時点修正と書いてございます。これは令和5年度から令和13年度の各年度に事業費が盛り込まれておりますが、令和4年7月の時点で一旦試算して

盛り込んでおります。その後に計画が変更となったものにつきましては、令和4年の12月の時点でさらに修正を行うという手法を取っております。それから②ですが、このたびの計画で新たに令和14年度が追加されておりますので、令和14年度の事業費について新たに追加し盛り込んでいるところでございます。それから資料1-2のほうの一覧で、一番左に事業等というところがあるかと思いますが、この中ほどからちょっと下に人件費という欄がございます。今回、こちらのほうも定年延長を考慮いたしまして退職手当の支給時期が変わりますので、こちらのほうで調整変更させていただいております。全ての事業計画につきましてここまで処理した後に、今度はそれぞれの事業計画が抱える背景とか、そういった事情に依りまして、必要な見直しをさらに行ってきております。(2)のところでございますが、さらに見直しを行いましたところの主な事業計画、こちらを、以降4ページにまたがりまして7つの事業計画について記載させていただいております。説明につきましては、主なものをピックアップさせていただいて説明させていただきたいと思っております。まず1つ目は、1ページ目の一番下に掲げております、第1節、広域市町村圏に関する計画の策定及び連絡調整でございます。資料1-2で申し上げますと、今御覧いただいている3ページになります。この3ページの表の一番左、事業等のところに、②で企画調整費というところがございます。こちらを併せて御覧いただけたらと思っております。こちらの事業計画につきましては、本組合のシステムにおきまして昨今データ通信量が著しく増加したということがありまして、通信障害が発生している状況がございます。幸いにも人命を預かります指令システムへの波及、こちらのほうは今のところ影響は出ておりませんが、一刻も早くこちらの指令システムへの波及を回避するため、来年度、ネットワークサーバーの更新がございまして、そちらに合わせて事務系と指令系のネットワークの分離を行おうとしたため、令和5年度の事業計画に係ります経費でございますが、資料1-1の一番下のところでございます。令和5年度の差額が918万7,000円、こちらを増額という形で事業計画を変更しているところでございます。お手数ですが、おはぐりいただきまして2ページを御覧ください。第2節で、不燃物処理施設の設置及び管理運営事業でございます。こちらが、資料1-2でいいますと4ページでございます。4ページの③に最終処分場管理事業というところがございますので、こちらのほうも併せて御覧いただけたらと思っております。こちらの事業計画につきましては、最終処分場の濃縮水処理施設に係る建設費相当額、こちらを当初、令和5年度から令和13年度の9年間で最終処分場の委託業者に支払うこととしておりましたが、建設費相当額に係ります金利のほうを削減するため、昨年度の補正予算で可決いただきましたことに伴いまして、あと令和5年度の2か年で委託業者のほうに建設費相当額を貸付けることとなったという経過がございます。

令和5年度につきましては、貸付金、それから浸出水処理施設流入ゲート弁の補

修費等、新たなものが出ておりました、増額となる場合がございます。あと、令和6年度から令和13年度につきましては、建設費相当額を2か年で貸付けたことに伴います金利削減ですとか、そういう減額効果が出てまいります。最終処分場の委託事業という大きなくくりの中で、そういった要素を取り入れたものが、資料1-1の2ページの一覧に記載させていただいております数値となって表れているところでございます。それからその下の第3節でございますが、不燃物処理施設の設置及び管理運営事業でございます。こちらは資料の1-2は5ページを御覧ください。5ページの①のところ、旧エコスラグセンター解体事業とあります。こちらのほうを併せて御覧いただけたらと思います。旧エコスラグセンターにおきましては、令和4年度から令和5年度にかけてサウンディング型市場調査を実施しまして、民間事業者による利活用の可能性を検証する、こういった方針としたことから、令和5年度に行う予定でありました解体設計業務を令和6年に移行したことに伴いまして、令和5年度と令和6年度につきましてそれぞれ記載の差額が出ております。こういった状況で事業計画のほうを変更しております。それから、次3ページを御覧ください。第11節になります。ごみ焼却施設の設置及び管理運営事業でございますが、資料1-2でいきますと13ページを御覧ください。13ページの一番上の行の部分になりますが、①一般廃棄物処理施設用地取得事業というところを併せて御覧いただけたらと思います。新しい一般廃棄物処理施設の建設用地の取得につきましては、最終候補地の決定後、地元合意を得たうえで令和5年度に実施する予定でございましたが、建設候補地の決定が今年度末にずれ込んでおりますことから、用地取得の事業のほうは、令和6年度に変更させていただいたため、一覧のとおり事業計画を変更しているものでございます。たびたびで恐れ入りますが、4ページのほうを御覧ください。最後になりますが、4ページの(3)退職積立基金積立金についてでございます。こちらは資料1-2は14ページでございます。最終処分場濃縮水処理施設の建設費相当額を令和4年度と令和5年度で委託業者に貸し付けることによりまして、その財源を確保するため、令和4年度と令和5年度の退職積立基金積立金の積立を取りやめまして、貸付金のほうに組み替えることとしたため計画を変更したものでございます。なお、積立を取りやめた額、こちら4億9,000万円でございますが、これは下の一覧に記載しておりますとおり、令和6年度から令和9年度までの4年間に追加で積み立てさせていただきたいとしているところでございます。説明は以上でございます。

○小谷委員長 説明が終わりました。委員の皆さんの質疑、御意見をお願いいたします。質疑ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○小谷委員長 ないようですので、当局からの説明を終わります。次に(2)江府消防署移転新築に伴う基本計画書の策定についてを調査事項といたします。

当局の説明を求めます。

○岩田消防局総務課長 はい、委員長。

○小谷委員長 岩田消防局総務課長。

○岩田消防局総務課長 そういたしますと、江府消防署移転新築工事基本計画書につきまして、資料2、それと本日席上配付させていただきました資料2参考資料を基に説明をさせていただきます。まず、表紙をおはぐりいただきまして1ページ目を御覧いただけますでしょうか。1の目的ですが、次年度に業者委託を行います江府消防署移転新築工事の基本設計及び実施設計の基となる事項を記載しております。2の移転の経緯につきましては、令和3年に策定されました個別施設計画を基に、消防施設においては大規模改修による長寿命化の方針が決定されましたが、江府消防署の庁舎におきましては県が指定する土砂災害特別警戒区域内にありますことから、令和3年11月に移転の方針が決定されたものでございます。3の庁舎整備方針につきましては、ライフサイクルコストの縮減と長期的な機能保持を大前提としつつ、以下の6点を方針として決めました。まず、(1)の防災活動拠点としての庁舎の整備としましては、アに記載のとおり、行政機関としての機能充実、また初動体制の確保はもとより、大規模災害時の活動拠点となるような敷地面積、建物構造、設備とすること。また、ウに記載のとおり鳥取県は豪雪地域に指定されておりまして、建設予定地のほうは大山の麓に位置していることから、雪に強い庁舎として整備いたします。(2)の消防訓練スペースの確保としましては、隊員の技能向上・維持に必要な訓練スペース、また日常的に体力錬成を行う機能を確保する方針としております。続いて、2ページのほうを御覧いただけますでしょうか。(3)の環境に配慮した長期的利用が可能な庁舎整備としましては、アのユニバーサルデザインの取り入れやバリアフリー化はもとより、ウに記載しております大幅な省エネを目標としましたZEB readyを目指して事業に取り組みます。このZEB readyと申しますのは、快適な室内空間を維持・実現しながら、建物で消費するエネルギーを50%まで削減することを目指した建物のこととございます。(4)の活動動線を重視した庁舎整備としましては、迅速・安全な出動動線の確保はもとより、火災救急出動から帰署した後の衛生面への配慮をいたします。(5)の特殊車両の点検整備スペースの確保としましては、江府消防署に配備されております救助工作車のウインチやクレーンの点検にある程度のスペースが必要となるものでございます。(6)の、女性消防吏員が使用する施設の整備としましては、当組合の特定事業主行動計画における職場環境の整備を踏まえまして、他の消防署と同様に、女性消防吏員が勤務できるよう施設を整備いたします。続けて、4の移転用地の位置でございますが、写真に添付しておりますとおり、現在の江府消防署から約1.3キロ米子側となり、車で約2分弱の位置となります。続いて、3ページのほうを御覧いただけますでしょうか。こちらは移転用地の詳細な写真となります。計画地の前面道路が

緩やかなカーブとなっておりますので車両動線の配慮が必要となりますが、ここは後ほど説明をさせていただきます。続いて、4ページのほうを御覧ください。

5の移転用地の概要についてでございますが、所在地は江府町武庫地内で、敷地面積は約2,400平方メートル程度であり、用途、防火地域の指定はございません。6の新庁舎の配置計画でございますが、移転用地の庁舎と車いす移動者用駐車場の配置を記載しております。なお、こちらには記載はしておりませんが、消防車両の洗車スペースや駐輪場などにつきましても、今後適切な位置に配置したいと考えております。続いて、5ページのほうを御覧いただけますでしょうか。こちら、7の新庁舎の概要でございます。(1)ウの構造規模は、鉄筋コンクリート造2階建て、建築面積につきましては600平方メートル程度、延床面積は1,100平方メートル程度を予定しております。また、造成工事につきましては、来年度、江府町さんの事業として実施いただく予定でございます。(2)の配置車両でございますが、中型車両2台を含む計6台となっております。(3)の主要諸室の概要でございますが、江府消防署は平成29年に移転新築を行いました皆生出張所の職員数と同程度でございますので、その当時の考え方を参考としております。続いて、6ページのほうを御覧いただけますでしょうか。(4)のその他の施設等の設置でございますが、訓練スペースの設備及び消防用ホース乾燥塔について記載をしております。続いて、8の新庁舎の平面計画及び9の建築計画方針でございますが、こちらは別図を参考として記載しておりますので、大変恐れ入りますが、最後のほうに記載しております図面のほうを御覧いただけますでしょうか。一番最後についておるA3が3枚あると思います。説明いたします図面については、先ほど説明した計画に基づきまして作成したものでございます。この図面については、今後の設計においてさらに現実的なレイアウトに変更される場合がございますので、御了承のほどよろしくお願いいたします。まず、1枚目の図面は配置図となります。図面右側が米子方面となります。先ほど御説明したとおり、前面が緩やかにカーブした国道となっております。車両の動線に配慮しまして、緊急車両と一般車両の動線を分けた配置としております。続いて、図面の2枚目を御覧いただけますでしょうか。こちらは1階の平面図となっております。1階は車庫、事務室、作戦室、来客用の業務用スペースとしております。図面では右側に配置しております玄関、バリアフリートイレを含めた来客スペースと、出動動線となる事務室、装備室、車庫を分けた配置としております。次に、図面の3枚目のほうを御覧いただけますでしょうか。こちらは2階の平面図となっております。2階のほうは、食堂、更衣室、浴室、仮眠室等の居住スペースを中心としております。図面の左側には、女性消防吏員が使用する設備を1区画に集約して配置しております。続きまして、資料お戻りいただきまして、申し訳ありません、7ページのほうを御覧いただけますでしょうか。大きな10番、構造計画方針でございますが、(1)の構造概要については、既に御説明したとおり鉄

筋コンクリート造2階建て、架構形式は基本的なラーメン構造といたします。(2)の耐震グレードですが、当施設は防災活動拠点でありますことから、全てのグレードを最上のものとしております。(3)の構造計画及び(4)の基礎構造計画については、いずれも経済性に配慮した計画といたします。続きまして、11の省資源・コスト縮減と、12の設備計画方針についてですが、こちらはコスト削減に係る各関係法令に基づき計画をいたします。ここでの詳細な説明については割愛させていただきます。続いて、9ページのほうを御覧いただけますでしょうか。13の工程計画でございますが、まず移転工事につきましては、この基本計画書を基に令和5年度に基本・実施設計を一括で委託いたします。また、同時に地質調査を実施しまして、その結果を設計に反映させます。工事につきましては、緊急防災減災事業債の期限となります令和7年度までの2か年をかけて実施する予定でございます。造成工事につきましては、江府町さんの事業としていただき、令和5年度で終了の見込みでございます。また、解体工事につきましては、工事の実施後に引っ越しを行いますことから、令和7年度下半期を予定しております。なお、この計画の基となります個別施設計画を、本日席上配付しました資料2参考資料として添付しております。こちらの5ページのほうに現在の江府消防署の建物評価の状況、また参考資料の最後のページ、A3になりますけれども、こちらのほうには別表といたしまして消防施設改修事業の全体スケジュールを添付してあります。この内容につきましては、これまでも繰り返し報告をさせていただいておりますので、詳細の説明については割愛させていただきたいと思っております。説明は以上となります。

○小谷委員長 説明が終わりました。皆さんより質疑、御意見を承ります。

○渡辺委員 はい、委員長。

○小谷委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 一つだけ教えてください。私もこのたびから広域の議員に舞い戻って来たものですから。要点で言えば、すごく今度の移転する場所がいびつな土地なんですよ。台形的な、非常に。真四角ならまた違った普通の駐車場の取り方ができるのかなと思うんですけど、これを選定するっていうのは、まあ造成は江府町がされるってことですけども。こういったやっぱりこの江府町あたりの国道沿いには、こういう土地しか空いたところがなかったからなのか、選定のその流れっていうのがちょっと分かんないものですから、ちょっとそれをお聞きしたいなというように。

○赤川消防局長 はい。

○小谷委員長 赤川消防局長。

○赤川消防局長 経緯といたしましては、この委員会にも報告はさせていただいているんですけども、江府消防署を全面移転という方向で決定した後に日野町さんと江府町さんのほうに候補地を挙げていただきまして、その中から協議の上

でこの位置を決定させていただいたところでございます。で、土地の内容です。場所、内容につきましては、江府町さん、日野町さんが提示されたものの中から、一番適切なものとしてこの土地を選定させていただきました。

○小谷委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 いろんな土地があったってことですね。候補的には。それでもやっぱり、かなり川と山に挟まれた地域でしょうね、江府町、日野町の間は。まあ、だからそうかもしれません。ちょっといびつな形だなと思ったんで。まあ内容的にはそうだったということですね。分かりました。

○小谷委員長 いいですか。

○渡辺委員 いいです。

○小谷委員長 ほかにありませんか。

○今城委員 はい、委員長。

○小谷委員長 今城委員。

○今城委員 これ基本の設計の段階、基本の計画書という段階ですので、今後、来年度に行われる実施設計に至るまでっていうところになってくると思うんですけども、一つ今後のことも含めて。女性吏員さんの居住空間のところを片方側に寄せましたっていうふうにおっしゃって、これは至極当然のことだなというふうには思ってるんですけど。あるところで私も宿泊とかをさせていただいたときに、ワンフロアで男性が使われるというそういうスペースと、ワンフロアの片側は女性が使うという、女性オンリーですっていうスペースがあるという施設があったときに、女性のところに入るっていうためには、そこに入るための鍵が必ず入っていて、そこに入るためには自分できちっと鍵を持って施錠を開けないと、そこには立ち入りできないっていうふうにきちっと作ってあったんです。こういうのって当たり前のようにただけでなかなかないなと思いながら、ワンフロアでそれを、男性側と女性側があるっていうところにおいては、こういう形が多分今の状態ではそういう設計なんだなというふうに思うんですけど、そういうところでのセキュリティをもう一段二段上げるっていうところに対する考え方をきっちりと盛り込んでいただきたいなと思いますので。これ今、計画段階ですから結構ですので。今後、実施という形になっていくところで、少しそのあたりをきちっとした形で示していただきたいなと思いますので。それはよろしくお願いします。

○小谷委員長 要望の取扱いでいいですか。

○今城委員 はい。

○小谷委員長 コメントはいいですか。

○今城委員 はい、いいです。

○岩田消防局総務課長 はい。

○小谷委員長 岩田総務課長。

○岩田消防局総務課長 委員御質問の女性施設のセキュリティ等々の問題でござ

いますけども、現在、当局におきましても、女性消防職員が消防局、米子消防署、境港消防署と勤務しているところをごさいます、それぞれ女性の個室等がありますけども、それぞれの職員が部屋に入るための鍵を持っておりまして、基本的には常に施錠状態ということをごさいます。江府消防署につきましても、そのあたりもしっかりとセキュリティを考えた配置及びセキュリティ、鍵等を持った対応をしたいと考えております。

○**今城委員** はい、委員長。

○**小谷委員長** 今城委員。

○**今城委員** はい、承知しました。物理的に鍵っていうのはもちろん持ってたんです、その施設とかでは。電子的に例えばカードみたいな形で、そこをかざさないとそのエリアに入れない。そこのエリアにまず入った後は、自分の個人のところで鍵を使うっていう形になったりとか。ですから、どういう形が一番いいのかっていうことではないんですけれども、やはりセキュリティをもう一段二段上げるっていうことに意識をした上での設計とかに臨んでいただきたいということです。今こう大体鍵してますから、何もないからっていうことではあろうと思えますけれども、当然何かあるわけでは普通はないんですけれども、まあ今の時代です、先般も自衛隊さんでの事件などもあって、やっぱり社会問題になっている以上、やっぱりそこは格段にセキュリティを上げているというこちらの構えというのがあって初めて安心して仕事をしていただけるんだっていう、きちっとした体制を整えてもらいたいと。特に新しく建てる施設ですので、当然そこは取り組んでもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。

○**小谷委員長** 岩田総務課長、よろしいですか。

○**岩田消防局総務課長** はい。

○**小谷委員長** ほかにありませんか。ないようですので、当局からの報告を終わります。次に、高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の更新に係る整備方針についてを調査事項といたします。当局より説明を求めます。

○**生田消防局指令課長** はい、委員長。

○**小谷委員長** 生田消防局指令課長。

○**生田消防局指令課長** そうしますと、高機能消防指令センターと消防救急デジタル無線の整備方針について御説明させていただきます。資料3を御覧ください。まず、資料3の別紙1を御覧ください。消防救急デジタル無線と高機能消防指令センターの構成イメージとしております。消防指令システムはこのようなイメージで構成されています。近年、経年劣化による機材の故障が頻繁に発生しており、また、メーカーサポートの期限も切れることもあって、安定稼働に支障をきたす恐れが十分に想定できる状態となっています。消防指令システムは24時間365日、安定して稼働させる必要がありますので、令和6年度に更新整備させていただくものです。資料3、1ページにお戻りください。2番の整備方針の検討に

ついてですが、共同運用、共同調達について、近隣消防本部やベンダーに聞き取りを行ったところ、本事業における実現は極めて困難な状態であったため、単独の整備とすることとします。続いて、3番の更新方法ですが、事業の公平性、起債等による全体事業費の削減等を検討した結果、有利である全面更新とすることとしました。おめくりいただいて、4番の事業費についてですが、概算で資料のとおりとなっておりますので起債の活用を考えております。続きまして、5番の事業調達に向けての課題ですが、(1)から(5)、5項目を挙げています。この5項目を含めた検討のまとめとしまして、本事業は有利な起債が活用できる全面更新での整備としますが、極めて専門的な知見が必要であることから、公平性確保のためにコンサルタント事業者の調達を実施したいと考えています。続きまして、6番の今後のスケジュールですが、別紙2を御覧ください。令和4年度中に調達支援のコンサルタント業者を決定して、令和5年度に早い段階で契約して、コンサルタント事業の支援を受けながら実施設計を行おうと考えています。令和6年度に施工業者の決定、事業開始となり、現時点では令和6年度事業完了予定としておりますが、近々の各消防本部の状況を調査しますと、不安定な世界情勢の中で機器や部品調達に時間を要しており、令和6年度以内の事業完了は非常に難しい状態になっているとの情報もありますので、事業の完了については令和7年度にずれ込むことも想定されます。以上、簡単ではございますが、説明を終わらせていただきます。

○小谷委員長 説明は終わりました。委員の皆さんの質疑、御意見をお願いいたします。

○渡辺委員 委員長。

○小谷委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 これもちょっと私分らないんで教えてください。質問というよりは。いわゆるこのコンサルタントによる業者選定っていう感じですよ、言われたのは。それでコンサルタントの予算規模の確認等は令和4年から始まって、プロポーザル方式による業者選考というのがあるんですけど、これはコンサルタントが業者選考をされるということですか。

○小谷委員長 生田指令課長。

○生田消防局指令課長 委員のお見込みのとおり、今年度コンサルタント業者の選考を行うということです。

○渡辺委員 委員長。

○小谷委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そこで聞きたいんですけど、私も知識がなくて、非常に専門的なあれみたいなんですけども。この業者っていうのは、例えば鳥取県米子市内には何業者ぐらいあるものなんでしょうか。

○小谷委員長 生田消防局指令課長。

○生田消防局指令課長 今現在、私が認識しているところでは、米子市にはこういったコンサルタント業者はありません。県内には鳥取市に1社、岡山に1社、2社程度で、西日本でも10数社もあるものでもないと思います。

○渡辺委員 委員長。

○小谷委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 コンサルタントもそれぐらいないってことですね。それでこれを設置するプロポーザル方式による業者選考に来る業者、できる業者っていうのも鳥取県米子市にはどれくらいあるものなんでしょう。

○小谷委員長 生田消防局指令課長。

○生田消防局指令課長 そういう業者が米子市にあるとは認識しておりません。

○小谷委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ということは地元調達は無理で、さっきのお話では各本部が替えるような時期にきていると。それでコンサルタントで調達するって言って、それも大概県外都市周りのコンサルタントで、または業者だってことですね。そういうやり方で調達するのが一番公平だという報告に聞こえるんですけど。これは意見ですけど、本当に公平になるようによろしく願いしたいなと思います。

○小谷委員長 よろしいですか。

○渡辺委員 はい。

○小谷委員長 ほかに。

〔「なし」と声あり〕

○小谷委員長 別がないようですので、以上で当局からの報告を終わります。

~~~~~

4 閉 会

○小谷委員長 これをもちまして、総務消防常任委員会を閉会いたします。

(午後2時33分 閉会)

鳥取県西部広域行政管理組合議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

総務消防常任委員長

小 谷 博 徳